

平成27年度高齢者専門ケア会議事例提示票

■ ケースタイトル

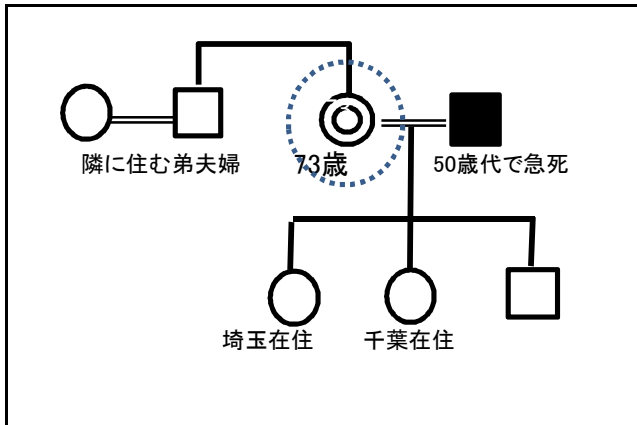
認知症と診断されているひとり暮らしの高齢者がサービス利用を拒否しているケース

■ ケース概要

H26年8月に介護保険を新規申請しており、要介護1の認定を受けたが、サービス利用はせず。調査員より、独居でサービスの利用も無いため、本人の了承を得て、社協に報告があった。9月に「新規独居訪問」として民生委員と社協職員で訪問。事前に訪問に伺うことを連絡していたにも関わらず、忘れていた。訪問の主旨とサービスについて説明するが、理解不十分だったので、本人に家族(長男)へ連絡してもらい説明する。しかし、長男が書類を置いていって貰えば、後で目を通して連絡するとのことだったが、家族からの連絡が来なかった。(実際は本人が書類を紛失していた)

H27年2月に民生委員より相談あり。近所の方から、「認知症がだいぶ進行しているのではないかと心配しているとのこと。再訪問の必要もあるか社協(包括)に関わって欲しいとのこと。介護保険は更新しなかったため、H27年2月に期限が切れていた。H27年4月に再度、長女より申請あり、5月に認定調査。調査員より、誰も関わりがなく、認知症状も進んでいるため、訪問の依頼あり。関係者の連絡先が認定調査時に分かったため、埼玉に住む長女と連絡を取り、J〇病院の受診時に長女と次女が付き添いのもと、面会をすることとなった。認知症が進んでいて独居のため、定期的なデイサービスの利用を考えたが、本人が頑なに拒否している状況。

■ 家族構成



■ 介護者・家族の状況

独居
 実弟夫婦: 隣に住んでいる。緊急時の対応は依頼できる。
 長女: 埼玉在住・キーパーソン
 次女: 千葉在住・週1~2回程度買い物を届けている。仕事をしているため、連絡が付きにくい
 長男: 居住地は不明

■ 主疾患

アルツハイマー型認知症 (H24年発症)

■ 受診状況

J〇 病院に受診中。神経内科。認知症の内服処方あり。

■ 介護保険(サービス内)

要介護1

■ 経済状況

厚生年金

■ 住宅環境

借家の一戸建て

■ ADL状況 ランク:A1

■ IADL状況

【移動】	自立	【調理】	ガス等を使用しての調理はほとんど行わない。惣菜等買って来たものを食べている。
【食事】	自立だが、ひとりだとすぐに食べられるものしか食べない	【洗濯】	家族によるとできる。
【排泄】	自立	【買物】	自分では行かない。週に1~2回次女が買い物をして届けている。
【入浴】	自立だが、促さないと入浴してない様子。	【掃除】	不明

■精神状況

<p>【認知症の状況:自立度】 ランク: IIIa</p> <p>短期記憶:問題あり</p> <p>意思決定を行うための認知能力:見守りが必要 自分の意志の伝達能力:いくらか困難 食事行為:自立ないし何とか自分で食べられる</p>	<p>【服薬】</p>	<p>メモリーOD 20mg 1錠1回 朝 レミニールOD 8mg 2錠2回 朝夕 一人でいると内服せず、手渡しだと、しま いこむため、口の中に入れて飲ませている。</p>
	<p>【金銭管理】</p>	<p>財布、通帳等のしまい忘れがあり、通帳 や大きな金銭に関しては娘たちが管理 新聞代や細かいものの支払いは封筒に 入れておくようにしている。</p>

<p>【本人の意向】</p>	<p>なるべくひとの世話にならないようにしていきたい。子供たちも働いてるし。</p>
<p>【家族の意向】</p>	<p>毎日の服薬が励行できるようにしたい。膝ががくがくして歩けないと本人が言っている ので、筋力低下予防をしてもらいたい。他者との交流を持って、認知症の進行予 防等行い、生活にメリハリをつけて在宅生活を送れるようになってほしい。</p>
<p>【関係者の意向(不安・課題)】</p>	

■生活歴 経過

<p>【生活歴】 同市で生まれ、中学の同級生の夫と結婚後、3人の子どもをもうける。以前は生命保険会社に勤務していた。51歳で夫が仕事中に急死。その後は3人の子どもを育て、独立し、その後独居となる。 普段の生活自体は独居のため、不明な点が多いが、独語が多く、昼夜逆転しているよう。物をとられ妄想が強く外出したがらない。娘たちが訪問したときにはひたすら物を探している。夜中に不審者が来て、盗まれると思い、眠っていない様子。最近では深夜1時頃に次女に「金返せ」と興奮した様子で電話あり。病院受診時も拒否して、怒り出し、近所の目も気にしないほど大きな声でどなることもある。 普段は表情はしっかりしており、会話も問題なくできる。しかし、会話を続けると、数分の内に何度も名前や同じことを何度も聞いてくる。</p> <p>【経過】 サービス利用につながらないため、まず独居登録を行う。長女に台帳の記入依頼し、返送してもらい、登録した。「ふれあい定期便」にて、週3日の牛乳の配達をし、安否確認を行うこととなる。現在は牛乳をボックスからとるように子どもから電話連絡をして取っている状況。</p>
--

■検討課題

<p>①本人がサービスを利用するのを拒否している。今後、どのようにサービスにつなげていけばよいか。</p>
<p>②今後必要になるサービスはどのようなものか。</p>
<p>③</p>